

# 下ナメリ かわら版

2006  
**秋**  
vol.11



防護柵に陶器が使われている波佐見町中尾山を流れる中尾川（川棚川水系）  
いかにも「陶芸の里 中尾山」らしい風景です。  
波佐見町は大村湾へ流れ込む川棚川の上流に位置しています。

大村湾をまるごと体験!! .....	2③
がんばっていますわたしたちのまち .....	4
大村湾の声 大野小エコクラブ（佐世保市） .....	5
させぼっ子環境サミット	
大村湾にくらす .....	6
県からのお知らせ .....	7
大村湾の郷土料理	

# 大村湾ウォッチング・リバーウォッチング

大村市では、子供たちに市内の河川や大村湾の現状を知ることにより、環境への関心と理解を深めてもらうため、小学生を対象とした「リバーウォッチング2006」を7月26日（水）～7月28日（金）に市内の3つの河川で、「大村湾ウォッチング2006 in 寺島」を7月29日（土）に大村市寺島で開催しました。



大村湾ウォッチングでは、晴天にも恵まれた中で約40名の参加がありました。

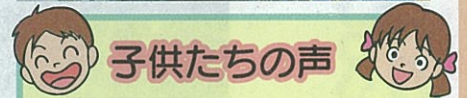
地元の漁師さんからのお話や、磯に住む生き物探し、水質検査、ゴミの分別や環境に関するクイズなど盛りだくさんの内容で、子供たちは楽しみながら水の大切さや環境保全への取り組みの重要性を学びました。



どんな、生き物がいるかな？



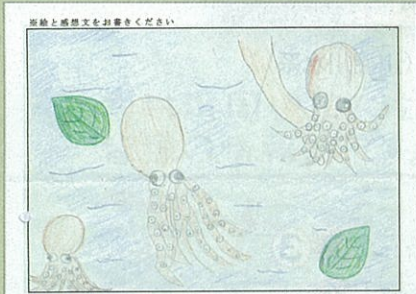
図鑑で調べてみよう。



## 子供たちの声

「大村湾について興味が出てきた」  
 「来年もこんなイベントがあれば参加したい」  
 「先生や友達と参加できて楽しかった」

## 大村湾フローティングスクール 感想文



小学校名 西大村 小学校  
 小学六年生 名前 為敷 美智  
 最近、多くの海や川などがとてもよく似た状態になっている事を、フローティングスクールを通して思いました。よごれの原因となる物は、松達人間が食べ物を残したり油を流したりしている事などです。このままでは多くの魚や動物が死んでしまつておちがいます。私達小学生は、自然を守り、きれいな川や海を維持したいです。



小学校名 長与南 小学校  
 小学五年生 名前 田中裕大  
 フローティングスクールで初めて大村湾の海を歩きました。  
 大村湾は水質が汚れていて、水温は低く、海底の温度も低く、海藻の生い茂る様子（？）  
 二回以上行きたいです。二回以上の大人も行ってみたいと思います。二回は行ってみたいと思います。



小学校名 早岐小学校  
 学年 五年 名前 小松 茉加  
 八月三日の「フローティングスクール」に参加して色々なことを勉強しました。今日は大村湾の泥を調べました。海の底から色々な生き物がいました。色も匂いも色々な色と匂いがありました。よごれていたら生き物が死んでしまうので、はなれたらいいなと思いました。大村湾を歩くと、私達の生活の中で、身近なところから取り組んで行くことが大切だと思います。

# 大村湾まるごと体験!!

## 大村湾フローティングスクール(長与港出航)

今回、夏に実施したフローティングスクール。夏休みということもあり、定員100名に対して460名あまりの5、6年生のみなさんの応募があり、その中から幸運にも選ばれ、2日間で84名の子供たちが参加しました。大村湾のクルージングと無人島上陸。どんな体験をしてきたことでしょう。スクールの様子や参加したみなさんからの感想文などを紹介します。

### 〈スクール内容〉

- ・大村湾のはなし
- ・水質検査体験
- ・大村湾でとれる魚のはなし & 魚のタッチング
- ・二島上陸 (昼食、ゴミ拾い)



いざ、出航!!



### 大村湾のはなし



熱心に話を聞く子供たち



### 大村湾でとれる魚のタッチング



大村湾の魚や漁法の話の後、実際に魚にタッチングしました。いいだよしゃ、かに、うに、ひらめなどいろいろな種類の魚をさわることができ、子供たちは大喜び!

### 水質検査体験



大村湾の海底の泥です。どんなにおいがする?

大村湾の水の深さや温度、汚れ具合、また海底の泥を採取し、においや色など観察しました。

### 無人島(二島)上陸



トリトン号



上陸前のはらごしらえ。



無人島なのに、どうしてこんなにゴミがあるんだろう。

炎天下のクルージングでしたが、大村湾を身体全体で感じる事ができました。

この経験をもとに身近にある自然を守るために、一人一人が何ができるのか……。子供たちとともに私たち大人も一緒に考えていかなければなりませんね。

### 終了証書の授与

大村湾を守りはぐくむための活躍を期待します。



# 波佐見グリーンクラフトツーリズム

## 【来なっせ体験塾】

波佐見町では、平成13年から農業と陶磁器の町ならではの陶（クラフト）を組み合わせたグリーンクラフトツーリズムが行われ、県内外から多くの方が波佐見を訪れています。

今回はその発起人ともいえる、文化の陶「四季舎」の畑中 昌三さんご夫婦にお話を伺いました。

## グリーンクラフトツーリズムを行うきっかけは……

波佐見の焼きものは400年の長い歴史をもち、焼きもので栄えてきた町です。このあたりは、昔60軒ほどの窯があったのですが、今では18軒ほどになってしまいました。

このままではこの町が衰退していく、何かしなければ……という思いから始めたのが、このクラフトツーリズムです。焼き物を通して多くの人に土でものを作る楽しさを体験してもらい、地元の人と交流できる場を提供することでたくさんの人に波佐見を訪れてもらおうという願いから始めました。

## どんなことが体験できますか？

年間を通して焼きもの窯を使ったピザ焼き、ろくろ、手びねり、絵付け、好みの植物で作る石玉盆栽づくり、わら細工、星空観測宿泊体験など多種多様な体験ができます。また、期間限定の体験では、梅漬けや椎茸づくり、里芋里親オーナーなどがあります。（体験には、予約の必要なものもありますので、詳しくは下記までお問い合わせください。）



広島からお休みを利用して体験にこられたお二人。1時間ぐらいで作品を仕上げられました。



初めてだったけど楽しかったです。（写真左から 児玉さん 佐藤さん）



畑中さんご夫妻



四季舎のなか

がんばってます。  
わたしたちのまち。

美しい風景や、建物はどこに行っても見ることができるけど、波佐見にしかないもの、それはここに住んでいる「人」なんですよ。

訪れる人との交流があり、毎日楽しく過しているという畑中夫妻。どんな人とも同じように接することを心がけているとか……。そんな人柄にひかれて足を運ぶ人も多いことだと思います。

詳しくは：波佐見グリーンクラフトツーリズム研究会（文化の陶 四季舎内）

☎ 0956-27-6051

URL : <http://park6.wakwak.com/^gct/>

# 大野小学校 エコクラブ

大野小学校では4年前から大野地区の環境活動に取り組んでいます。はじめは、6年生が中心だったのですが、今年から、全校あげて環境活動に取り組んでおり、7月には「エコクラブ発会式」を行いました。

写真は昨年、6年生が活動した様子です。

## 「相浦川調べ隊」

相浦川の水質調査や水生生物の調査、川の様子やごみなどについて調べました。



自分たちが住む大野の町を守ろうということで、相浦川と学校周辺（近くの道路や駅周辺など）の清掃活動に取り組んでいます。



## 「大野守り隊」



# 大村湾の声

大村湾流域には、豊かな自然や環境を守るため、様々な活動に取り組んでいる方たちがたくさんいます。ここではその声をお届けします。

## 佐世保市からのお知らせ

### させぼっ子環境サミット & 親子ふれあい環境フェア

広く環境への理解と環境保全活動を促すためのイベント「させぼっ子環境サミット」「親子ふれあい環境フェア」をこの秋同時開催します。

と き：平成18年11月12日（日）10時～16時まで  
 ところ：させぼエコプラザ（旧 戸尾小学校跡地）  
 （駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください）

子供たちによる環境活動の発表、企業・団体・佐世保市による出展ブース・かえっこバザール（家庭で不要になったおもちゃの交換）など。



かえっこバザール

お問い合わせ：佐世保市環境部 総務課 ☎0956-31-6520  
 環境保全課 ☎0956-26-1787

# 大村湾にくらす

大村湾で漁をする人たちのほとんどは小さい頃から大村湾に親しみ、大村湾の変わりゆく姿を、目でそして肌で感じています。そこで、今回、多良見町漁業協同組合の入江組合長や組合の方にお話を聞いてみました。



## 大村湾は大切な預かりもの

取材したのが8月ということで、イダコ漁の真っ最中。早速、船に乗せてもらい漁の様子を見せてもらいました。このあたりでは、お盆だこ、ペーロンだこ、おくんちだこなどと言い、お客さんがきたときにイダコでもてなすのが常であり、たこがないと「ふゆみなし」（なまけもの）といわれるため、その頃には必ずたくさんとって各家庭で蓄えているそうです。

イダコ漁は、えさもいろいろで、だいたい、朝の5時ぐらから8時くらいまでの時間に漁を行います。ほかにもカニやしゃこなどこの時期にはたくさんとれます。

昔、まだ小学生だった頃、手こぎ船や泳いで鹿島へ渡り遊んでいました。島にはマッチをおいており、火をおこしてサザエや魚をとって食べていました。

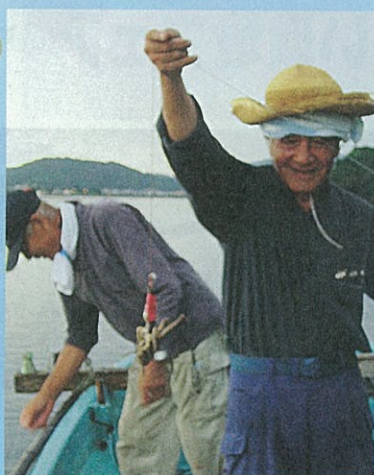
その頃は、スナメリもいたるところで見かけており、イルカのように人なつっこい魚で、よく手こぎ船に寄ってきていたので、船の縁をたたいて追い返していました。今、考えると船の高速化でエンジン音が常中海の中を鳴り響き、スナメリも住みにくくなったのかもしれないね。



イダコ漁をする増丸さん



カニ漁をする小林さん



入江組合長（写真右）

私たちは、大村湾という長い歴史を持つ自然をほんの一瞬の間、預かっているだけ。

いつ、どこの場所でも魚や貝など水産物がとれる海であるよう守っていきたくと思っています。

そのためには、私たち漁をする者だけの力では限界があります。

大村湾の流域に住む一人一人にその責任があるのです。私たちが生きていくうえで、この豊かな自然を守っていくことはとても大切なことなのです。

多良見漁協では、8月末に浜の清掃を一斉に行います。大村湾を守ることであればすぐに行動に移すことができるのがこの多良見漁協ですよと胸をはる入江組合長。

…………… 大村湾への熱い思いがこちらまで伝わってきました。



# 大村湾連続講座

開催中

大村湾を海、山、川と色々な視点から体験的に学ぶ「大村湾連続講座」を開催中です。第1回目は「環境配慮に取り組む企業見学会」、第2回目は「干潟観察会」でしたが、あいにくの雨のため干潟観察会は中止しました。

## 第1回「環境配慮に取り組む企業見学会」

と き：平成18年6月25日（日）  
 ところ：ソニーセミコンダクター九州（株）テクノロジーセンター  
 コマツ電子金属（株）

当日は小雨の降るなか、小学生から年配の方まで36名のみなさんが参加されました。

どちらの企業も、身近にあるものの、なかなか工場内部に入ることはできないので、みなさん興味津々の様子でした。



参加者のみなさん



ごみの分別。なんと36種類に分別されます。(コマツ電子金属(株))

## これからの講座のお知らせ

### 第4回 大村湾の水産教室

と き：平成18年10月22日（日）  
 ところ：針尾漁協（佐世保市）  
 早岐駅から貸切バスがでます。

船上からの養殖見学など日常では体験できない楽しい内容です。

お問い合わせは県環境政策課まで  
 ☎ 095-895-2355

県からのお知らせ

# 大村湾郷土料理

バッチめし(西海市西彼町)

大村湾域には、ナマコやシャコなどの水産物からみかんやブドウなどの果物といった農作物が豊富にあります。ここでは、豊かな農水産物を使った大村湾域の郷土料理を西海市の高富さんに紹介していただきました。食欲の秋、みなさんも郷土料理に挑戦してみませんか？



〈材料〉  
 バッチ（かんころ） 1升  
 もち米 1合  
 あずき 1合  
 砂糖 お好みで

〈作り方〉

- ① もち米を洗って、一晩水に浸けておく。
- ② あずきを洗って、柔らかくなるまで炊く。または魔法瓶にお湯を入れ、一晩浸けておく。
- ③ バッチを洗って、柔らかくなるまで水に浸け、水をきっておく。
- ④ 材料を鍋に入れ、水をひたひたに入れ、水がなくなるまでよく練る。
- ⑤ 水がなくなったら、バッチ、もち米の粒がなくなるまでよく練る。
- ⑥ 味を見て、好みで砂糖を入れる。

西彼亀浦地区で、平成元年に仲間とともに加工所を作り、バッチめしやまんじゅうなどを作ってきました。

昨年、加工所を閉め、今は、西彼農業高校に年1回、郷土料理を教えるに行ってます。

子供たちや子供を育てるお母さん方には是非郷土の素朴な味を知ってもらい、次の世代に伝えていってほしいですね。



亀浦地区 高富さん  
 （自宅玄関にて）  
 現在は、バラの栽培に夢中です。

詳しくは……  
<http://www.n-nourin.jp/oh/recipe/menu.htm>  
 長崎県ホームページ  
 e-農林水産・ながさきをご覧ください。

# 大崎自然公園 (川棚町)

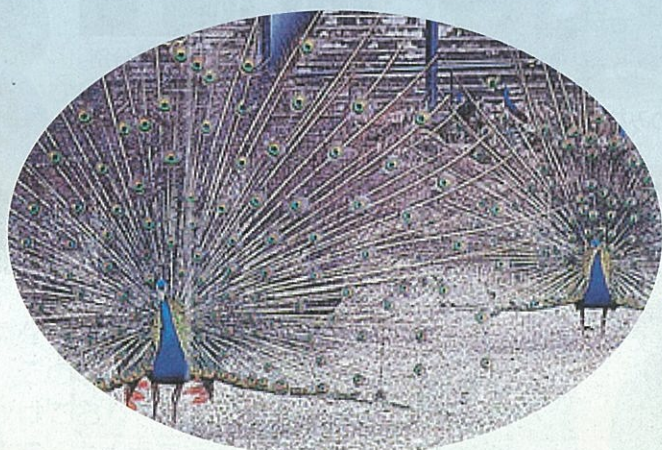
大村湾にちょこんと突き出た、まるごと楽しい自然公園。



波静かな大村湾を見下ろす高台に、「国民宿舎くじゃく荘」(写真左)「川棚大崎温泉しおさいの湯」(写真右)があります。

川棚町

## 大村湾のおすすめスポット



約400羽のインドくじゃくやフラミンゴなどの動物たちとふれあえることができ、四季折々の植物に囲まれた大崎くじゃく園。



8月20日(日)には、大崎半島を舞台に「第4回アクアスロンかわたな大会」が開催され、県内外から集まったアスリートによる闘いが繰り広げられました。

●詳しいお問い合わせは:川棚町観光協会 ☎0956-83-3210  
ホームページ <http://www.kawatana.jp/kouen/index.html>

大村湾周辺にお住まいの  
皆様の情報誌です。

# スナメリ がわら版



平成18年10月発行  
編集・発行/長崎県環境政策課  
〒850-8570 長崎市江戸町2-13  
TEL095-895-2355 FAX095-895-2566

### 大村湾に関する環境情報を提供して下さい。

- 長崎県環境政策課 ◎電話 095-895-2355 ◎FAX 095-895-2566  
◎ E-mail omurawan@pref.nagasaki.lg.jp
- 長崎市環境保全課 ◎電話 095-829-1156 ◎FAX 095-820-0316
- 佐世保市環境保全課 ◎電話 0956-24-1111 ◎FAX 0956-34-4477
- 諫早市環境保全課 ◎電話 0957-22-1500 ◎FAX 0957-22-9137
- 大村市環境保全課 ◎電話 0957-53-4111 ◎FAX 0957-54-0404
- 西海市環境衛生課 ◎電話 0959-37-0065 ◎FAX 0959-29-0050
- 長与町環境対策課 ◎電話 095-883-1111 ◎FAX 095-883-2061
- 時津町住民環境課 ◎電話 095-882-2211 ◎FAX 095-881-2764
- 東彼杵町町民課 ◎電話 0957-46-1111 ◎FAX 0957-46-0884
- 川棚町町民生活課 ◎電話 0956-82-3131 ◎FAX 0956-82-3134
- 波佐見町住民課 ◎電話 0956-85-2111 ◎FAX 0956-85-8161